

鶴見あけぼの保育園だより 2024 7月号

鶴見駅東口の階段を下りる時、目に映るサルスベリの花。「今年も暑い夏が来たことを知らせてくれます。」

7月6日(土)の夏まつりは、晴天に恵まれ、子ども達も大人達も皆で楽しく有意義な時間を過ごすことができました。ご支援・ご協力、ありがとうございます。日々の保育の積み重ねの延長線上に行事があり、当日を迎え、発揮された力は質的に変化します。ですから、行事を終えた子ども達は大きく成長し、表情もぐんと変わったりプールや水あそびでの動きが変化したりと驚くことが多くあります。当日、体調不良でお休みされた子どもも、夏まつりに向かう活動の中で、日々成長してきたことは変わりありません。

培った力を基に、これからの夏の活動を充実させ、徐々に秋の活動や運動会(10月26日)へと向かっていきたいと思っております。年長さんは、9月にお泊り保育もありますので、職員皆で共有・確認しながら力を合わせていきます。引き続き、よろしくお願い致します。(園長 穴井)

区交渉に参加してきました

7月9日(火)18:30~19:30、鶴見区に対して子ども関連の要望を伝える会があり、浦主任と穴井が参加しました。矢向あけぼの保育園からも、保育士の松本・柴谷・吉田と渡辺主任が参加。「国の1歳児の対数基準が6:1になっている現状を改善してほしい」と現場の実態を伝えると共に、0.1、2歳児の保育料軽減・幼児の給食費無償化を訴えかけました。

学童保育や公園について、学校給食についてなど幅広い分野からのたくさんの要望を参加者皆で伝えました。

浦主任は、副区長さんの目を見つめながら、ゆくりした口調で、じっくりと訴えて、参加者も、うなずきながら聴き入っていました。

「〇〇の場所に信号機を付けてほしい!」「△△の草刈りをしてほしい!」など、身近な具体的要望もたくさん出されました。

秋には、市への要望を提出し、市との交渉もします。参加しましょう!!

